

第1回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議 会議録

日時：令和7年7月31日（木）

14時00分から14時55分

場所：山武市役所第5会議室（新館3階）

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 委員・職員の紹介
5. 議 題
 - (1) 副座長の選出
 - (2) 第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績について
 - (3) 企業版ふるさと納税に係る令和6年度実績について
6. そ の 他
 - (1) デジタル田園都市国家構想交付金活用事業のKPIについて（報告）
7. 閉 会

○会議資料（事前配付）

- ・ 第1回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議 次第
- ・ 【資料1】第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績
- ・ 【資料2】第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略計画期間（令和2年度～令和6年度）の実績推移
- ・ 【資料3】企業版ふるさと納税-令和6年度実績-
- ・ 【資料4】デジタル田園都市国家構想交付金活用事業に係るKPI
- ・ 【参 考】山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議委員名簿
- ・ 【参 考】山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議設置要綱
- ・ 【参 考】第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・ 【参 考】第3期山武市地方創生総合戦略

<当日配付>

- ・【当日配布資料】第1回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議 座席表

○会議経緯 (14:00~14:55)

対応	内容
<p>事務局 14:00~14:01</p>	<p>【1. 開 会】</p> <p>定刻になりましたので、ただいまより、令和7年度第1回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議を開催させていただきます。</p> <p>本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会を務めます総合政策部企画政策課の石田です。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日の会議ですが、約1時間程度を予定しております。</p> <p>それでは、お手元にございます次第に従いまして進めさせていただきます。</p>
<p>事務局 14:01~14:02</p>	<p>【2. 委嘱状交付】</p> <p>次第の2「委嘱状交付」です。</p> <p>今回の会議は、令和7年度に入りまして初めての会議でございます。</p> <p>当会議の委員は、山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議設置要綱第3条第2項に基づき、関係機関等の代表者様や代表者からのご推薦によりお願いいたしました。</p> <p>大変恐縮ではございますが、机上にて委嘱状を配付させていただいております。ご確認をお願いいたします。</p> <p>なお、同第3条第4項に基づき、委員の任期は本日から令和9年3月末までとなっております。</p>
<p>事務局 14:02</p>	<p>【3. 市長あいさつ】</p> <p>それでは、次第の3「市長あいさつ」です。松下市長よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>松下市長 14:02~14:07</p>	<p>皆さま、こんにちは。市長の松下でございます。</p> <p>本日は暑い中、まち・ひと・しごと創生戦略会議に、ご臨席を賜りまして、ありがとうございます。</p> <p>また、昨日はカムチャツカ半島沖地震による津波警報への対応があり、ご多忙のところ、当会議の開催に関しご協力ありがとうございました。</p> <p>先ほど、机上にて委嘱状を交付させていただきましたが、改めまして皆様方にはよろしくお願い申し上げます。</p> <p>今年度から新たに、県立松尾高等学校の伊藤校長に委員をお引き受けいただいております。よろしくお願い申し上げます。</p>

対応	内容
<p>松下市長 14:02～14:07</p>	<p>この会議の趣旨は、平成 27 年度から本格的に始まりました地方創生を効果的・効率的に推進していくために、「産官学金労言」の幅広い分野の見識を持たれている委員の皆様方と審議・検討を行い、その結果を反映していくことで、より一層の効果を出していくことにあります。</p> <p>昨今、全国的にも人口減少が大きな話題となっておりますが、私が千葉県議会議員の頃は、まだ人口減少については大きく取り上げられていませんでした。しかしながら、当時の副知事さんから「人口減少が今後大きな課題となる。」と勉強させていただいたことを覚えております。</p> <p>その後、私が当市の市長の一期目を務めさせていただいた頃、山武市においても人口減少が課題となっていたことから、「すべての施策を人口減少対策につなげる」として、様々な取組を行ってききましたが、人口を増加させるということはなかなか難しい状況でございます。</p> <p>引き続き、人口減少対策に取り組んではいけますが、今後は人口が少なくなる中で山武市をどうしていくか、という視点も重要だと考えており、そのような視点も踏まえた地方創生に取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>令和 7 年 3 月、第 2 期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略を発展的に継承させた「第 3 期山武市地方創生総合戦略」を策定いたしました。昨年度も当会議に参画していただいた委員の皆様につきましては、ご意見等をいただき、誠にありがとうございました。当市の地方創生についても 10 年が経過し、意識や取組が確実に根付いていると感じております。</p> <p>また、国では「地方創生 2.0 基本構想」が閣議決定され、その中では、関係人口を活かした新たな人の流れの創出や、産官学金労言など、地域の多様なステークホルダーが相互に連携していくことが掲げられております。</p> <p>こうした取組を実施していく中で、ぜひとも、委員の皆様方のお知恵をお借りし、地方創生の取組を深めていきたいと思っております。 本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局 14:07</p>	<p>市長はここで退席とさせていただきます。</p>

対応	内容
事務局 14:07～14:09	<p>【4. 委員・職員の紹介】</p> <p>それでは、次第の4「委員・職員の紹介」です。</p> <p>委員の皆様のご紹介でございますが、私からお名前を読み上げさせていただきます。その際、恐縮ではございますが、自席にてご起立をお願いいたします。</p> <p>＝委員紹介＝</p> <p>委員の皆様、ありがとうございました。</p> <p>続いて、職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>＝職員紹介＝</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
事務局 14:09～14:10	<p>【5. 議 題】</p> <p>次第に戻りまして、5. 議題に入るところですが、その前に、本日の出欠状況をご報告します。</p> <p>本日は、委員総数14名に対し、9名の方にご出席をいただいております。なお、鈴木委員、辻子委員、増淵委員、成川委員、高岡委員からは、所用のため欠席とのご連絡をいただいております。</p> <p>山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議設置要綱第5条第2項に基づき、出席委員が過半数を超えておりますので、会議は成立することをご報告いたします。</p> <p>また、同要綱第4条第2項及び第5条第1項の規定により、この後の議事につきましては、上大川座長にお願いしたいと存じます。</p> <p>それでは、上大川座長、今後の議事をよろしくお願いいたします。</p>
上大川座長 14:10	<p>【5. 議 題】</p> <p>改めまして、座長を務めさせていただきます、副市長の上大川です。よろしくお願いいたします。</p>
上大川座長 14:10～14:11	<p>【5. 議題：（1）副座長の選出について】</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>（1）副座長の選出についてです。</p> <p>山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議設置要綱第4条第4項では、「副座長は、委員のうちから座長が指名する。」とあります。</p> <p>要綱に従いまして、私から指名させていただきます。昨年から継続されている方にご協力賜りたく考えております。</p>

対応	内容
上大川座長 14:10～14:11	<p>当会議は、様々な見識をもつ委員の皆様よりご意見等を頂戴する会議となっております。また、男女共同参画の観点から、女性からのご意見も重要なものだと考えております。</p> <p>つきましては、関委員にお願いしたいと存じます。</p> <p>関委員、山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議の副座長にご就任願えますでしょうか。</p>
関委員 14:11	<p>はい。よろしくお願いいたします。</p>
上大川座長 14:11～14:12	<p>ありがとうございます。それでは恐縮ですが、副座長席にお移りいただき、就任のごあいさつをお願いしたいと思います。</p>
関副座長 14:12	<p>改めまして、関でございます。</p> <p>ただいま、座長からご指名いただき、副座長を務めさせていただくこととなりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
上大川座長 14:12	<p>(2) 第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績について</p> <p>続きまして、(2) 第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績状況についてです。</p> <p>事務局からの説明の後、委員の皆様方からのご意見・ご質問を受ける形で、進めていきたいと思っております。</p> <p>では、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 14:12～14:25	<p>それでは、第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績について、説明いたします。</p> <p>資料に入る前に、まち・ひと・しごと創生総合戦略について簡単に説明させていただきます。</p> <p>まち・ひと・しごと創生総合戦略とは、平成26年、まち・ひと・しごと創生法の施行により、日本全体で人口減少が予測される中、東京への人口集中を改善し、地方を活性化させ、少子化に歯止めをかけることを目的に国において、策定されました。</p>

対応	内容
<p>事務局 14:12～14:25</p>	<p>地方自治体においても、独自の強みを生かして地域を活性化させることを目的とした総合戦略の策定が努力義務となっており、当市においても、令和2年度から令和6年度までを計画期間とする「第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。</p> <p>第2期総合戦略は令和6年度までを計画期間としていたため、昨年度、第2期総合戦略を発展的に継承させた「第3期山武市地方創生総合戦略」を策定いたしました。第3期総合戦略は令和7年度から令和11年度までを計画期間としております。</p> <p>当会議では、第2期総合戦略の計画期間満了に伴う実績報告をさせていただき、参考として、現行の総合戦略である、第3期山武市地方創生総合戦略を添付しております。</p> <p>総合戦略は、人口ビジョンと総合戦略本編の2部構成となっており、人口ビジョンでは山武市の現状分析や、将来人口の推計、本編では目指す地域像に向けた目標や施策を記載しております。</p> <p>それでは、【資料1】をご覧ください。</p> <p>第2期総合戦略は令和6年度をもって計画期間が満期となったため、第2期総合戦略の最終的な実績を記載しております。</p> <p>まず一番左の黄色い枠、人口ビジョンにおける実績等についてご説明いたします。2の①「山武市の人口の推計」として、計画時の推計では、令和2年に総人口48,174人、老年人口17,236人、生産年齢人口26,615人、年少人口4,323人と推計しておりました。</p> <p>②実績として、令和2年国勢調査の結果、総人口48,444人、老年人口17,437人、生産年齢人口26,686人、年少人口4,321人となりました。外国人の転入増加等により、推計よりも総人口は上振れしたものの、年少人口については推計より微減となりました。</p> <p>続いて、3「山武市の現状」として、計画1年目の令和2年の数値と最新の数値を比較します。</p> <p>1つ目、「出生数」について、令和2年は199人でしたが、令和6年は155人となり減少しております。</p> <p>2つ目、「死亡数」について、令和2年は717人でしたが、令和6年は846人となり、増加しております。</p>

対応	内容
<p>事務局 14:12～14:25</p>	<p>3つ目、「合計特殊出生率」について、令和2年は1.01でしたが、取得できる最新のデータである令和5年は0.84となりました。</p> <p>4つ目、「転入数」について、令和2年は1,493人でしたが、令和6年は2,395人となり、増加しております。</p> <p>5つ目、「転出数」について、令和2年は1,792人でしたが、令和6年は2,328人となり、増加しております。</p> <p>続いて、人口ビジョンの右の欄、総合戦略の基本目標及びKPIについて、青字が目標値を達成した指標、赤字が未達成の指標となっております。</p> <p>基本目標については全7指標のうち、3指標が達成、4指標が未達成となり、KPIについては全14指標のうち、3指標が達成、11指標が未達成となりました。</p> <p>詳細については、【資料2】を用い、いくつか抜粋してご説明いたします。</p> <p>本計画は、山武市総合計画と連携しており、総合計画における改善（ACT）の部分にてPDCAサイクルを図ります。</p> <p>それでは、【資料2】をご覧ください。各数値目標及びKPIについて、計画期間である令和2年度から令和6年度までの実績の推移を記載しております。</p> <p>いくつか抜粋してご説明させていただきます。</p> <p>1ページ目上段、基本目標1の数値目標「転入転出者数」について、令和6年度は67人の社会増となり、目標値を達成しました。</p> <p>外国人の転入が多いことが主な要因として考えられます。</p> <p>同じく1ページ目下段、「年間観光客入込数」について、令和6年度は172万2000人となり、前年の令和5年度の実績と比較して微減となりました。目標値の210万1000人に届かず、未達成となりました。</p> <p>続いて、2ページ目上段、施策1-1のKPI「ふるさと納税の寄附件数」について、令和6年度は8,405件となり、目標値を大きく上回り達成となりました。</p> <p>続いて、3ページ目、基本目標2の数値目標「中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合」について、令和6年度は45.2%となり、前年度から増加したものの、目標未達成となりました。</p>

対応	内容
事務局 14:12～14:25	<p> 続いて、4ページ目下段、施策2-2のKPI「海外派遣事業応募者数（累計）」について、令和2年度から令和4年度まで新型コロナウイルス感染症の影響により事業が実施できなかったことから、累計60人となり目標未達成となりました。 </p> <p> 続いて、5ページ目上段、基本目標3の数値目標「出生数+15歳以下の社会増減数（累計）」について、出生数が毎年微減していることから累計982人となり、目標未達成となりました。 </p> <p> 同じく5ページ目下段、「地域医療体制の充足度」について、本指標は第2次山武市総合計画における成果指標を参照しておりましたが、第3次山武市総合計画では、指標から外れてしまったため、令和5年度以降は取得不可となっております。 </p> <p> 最後に取得できた令和4年度時点では61.3%となったため、本指標は達成と扱っております。 </p> <p> 続いて、6ページ目下段の2つの指標、施策3-2のKPI「基幹バスの年間利用者数」及び、「乗合タクシーの年間利用者数」について、基幹バスについては、令和6年度は48,432人となり、コロナ禍前の水準まで回復したものの、目標値には届かず未達成となりました。 </p> <p> また、乗合タクシーの利用者数については、30,527人となり、運賃の値上げ以降減少傾向にあり、目標未達成となりました。 </p> <p> 続いて、7ページ目上段、基本目標4の数値目標「市内事業所従業者数」について、本指標は国の統計調査である経済センサスを参照しておりますが、この調査は毎年実施しないため、令和6年度は取得不可となっております。最後に取得できた令和3年度時点では16,788人となったため、本指標は達成と扱っております。 </p> <p> 同じく7ページ目下段、「従業員一人当たりの製造品出荷額等」について、本指標も国の統計調査である工業統計調査を参照しておりましたが、この調査が経済構造実態調査へ統合されたことにより、取得不可となっております。最後に取得できた令和3年度時点では4,636万円となり、目標未達成となりました。 </p> <p> 最後に、8ページ目2段目、施策4-1のKPI「農業所得」について、令和6年度は米価の上昇により大きく上昇し、14億1900万円となりましたが、目標値には届かず、未達成となりました。 </p>

対応	内容
事務局 14:12~14:25	説明は以上になります。
上大川座長 14:25	では、委員の皆様方からのご意見・ご質問に移らせていただきます。 ご意見・ご質問がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いします。
関副座長 14:25	ふるさと納税の寄附件数が大きく伸びた要因はなんですか。
事務局 14:26	<p>複数の要因があり、商工会などの事業者団体との連携により、返礼品の種類を大きく増加させたことが考えられます。</p> <p>特にハマグリなどの海産物が新たな返礼品として非常に好評だと聞いております。</p> <p>また米価の上昇により、お米の定期便などの返礼品に係る寄附も多くいただきました。</p> <p>その他、ふるさと納税に関する中間事業者を昨年度から変更したことも要因として考えられます。</p>
内山委員 14:27~14:28	<p>「年間観光客入込数」に関して大きく2点、この中で、最も観光客を集める場所はどこでしょうか。</p> <p>また、年間観光客入込数の目標を達成するためにどのような取組をやっていくのか。の2点になります。</p> <p>今まで、千葉県海沿いの市町では海水浴客なども大きなウエイトであったと思われませんが、近年海水浴客が減少しつつあると思われれます。</p> <p>そのような状況の中で、今後、通年型の観光が非常に重要な視点になるかと思われれます。</p> <p>その他、現在、高付加価値化という点にも注目されており、消費額に関する指標について、今後の計画に入れるなど、どう考えているか併せて伺います。</p>

対応	内容
事務局 14:28～14:30	<p>昨年度、最も観光客が多かった施設は、道の駅オライ蓮沼であり、およそ84万人でした。次点としては、いちご園約27万人、ウォーターガーデン18万人と続きます。</p> <p>通年型の観光としては、ゴルフ場（合計約10万人）や、キャンプ場（約1万6千人）などが挙げられます。</p> <p>海水浴客についてはご指摘のとおり減少傾向にあり、ただ海水浴場を解放するだけでなく、地域の事業者や、関係する方々との連携により高付加価値化を図っていく必要があると考えています。</p> <p>また、消費額等の指標については現在取得しておらず、今後の計画の中で指標として活用する場合、取得方法や目標値の設定方法など、ぜひお力添えをいただけたらと思います。</p>
上大川座長 14:31	<p>この地域全体として、観光客に通過されてしまうという課題があり、通年型の施設や取組が必要になっていると考えております。</p> <p>また、千葉県にて蓮沼海浜公園の整備についても検討が始まっているため、県とも連携しつつ、期待していきたいと思います。</p>
事務局 14:32～14:36	<p>通年型の観光施設に関連して、企画政策課では空き公共施設の利活用を検討しております。</p> <p>廃校になった学校を活用し、イベント会場としてや、企業のセミナーなどで利用してもらいつつ、宿泊もできる施設として整備できないか検討しております。</p>
諏訪委員 14:37	<p>英語教育に関連して、「中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合」は未達成となったものの、「英語講座への参加者数」は大きく達成したことに何か理由はありますか。</p>
事務局 14:37～14:41	<p>「英語講座への参加者数」については、計画策定した際は、東京オリンピック・パラリンピックに関連した事業などから数値を取得予定でした。しかしながら、コロナ禍の影響や、事業の統廃合により目標値と大きく離れたものと考えられます。</p>

対応	内容
<p>事務局 14:37～14:41</p>	<p>また、「中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合」に関して、令和6年度からAIを活用した学習システムを導入したことにより上昇したと考えられます。</p> <p>国では、CEFRという指標を使用しており、国全体では令和5年度に英検3級相当の生徒の割合が50.0%になりました。しかしながら、従来の英語検定とは異なるため、一概に比較ができない状況となっております。</p> <p>そのため、第3期山武市地方創生総合戦略の指標では、国と合わせ、CEFRの英検3級相当の生徒の割合を測ることとしました。</p>
<p>上大川座長 14:41</p>	<p>(3) 企業版ふるさと納税に係る令和6年度実績について</p> <p>続きまして、(3)企業版ふるさと納税に係る令和6年度実績についてです。同様に、事務局からの説明の後、委員の皆様方からのご意見・ご質問を受ける形で、進めていきたいと思っております。</p> <p>では、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 14:41～14:44</p>	<p>令和6年度に本市が受けた企業版ふるさと納税について報告させていただきます。【資料3】をご覧ください。</p> <p>まずは制度概要についてご説明いたします。</p> <p>企業版ふるさと納税は、国が認可した地方公共団体の取り組みに対して企業が寄附を行った際に、法人関係税を税額控除する制度であり、本市では平成30年度から総務省の認可を受けております。</p> <p>1回当たり10万円以上の寄附が制度の対象となり、本社が市内にある企業は対象外となっております。また、寄附の見返りとしての補助金や契約など、経済的な見返りは禁止されています。この寄附は、現金のみならず、物品での寄附も可能です。</p> <p>令和6年度については、現金については13者より、合計3,100,000円の寄附がありました。</p> <p>第2期総合戦略の基本目標として掲げている4つの目標である、「地域の魅力と誇りの創生事業」「グローバル人材を育てる力の創生事業」「出産・子育て、高齢者にやさしいまちを育てる力の創生事業」「地域経済を育てる力の創生事業」の4つのうちいずれかに該当する事業へ充当しております。</p> <p>その他、物品での寄附が1件あり、災害時に活用できる衛星携帯電話3台の寄附がありました。</p>

対応	内容
事務局 14:41～14:44	<p>最後に参考として、令和5年度以前の寄附実績も記載しております。</p> <p>現金の寄附実績としては減少しているものの、令和4年度は1件300万円の大口寄附があったこと、加えて令和5年度は千葉県誕生150周年記念事業である、百年後芸術祭への寄附を多くいただいたことから上振れていたと考えられます。説明は以上になります。</p>
上大川座長 14:44	<p>では、委員の皆様方からのご意見・ご質問に移らせていただきます。</p> <p>ご意見・ご質問がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いします。</p>
	<p>＝意見・質問等なし＝</p>
上大川座長 14:45	<p>では、最後となりますが、委員の皆様方から何かございましたら、挙手の上、ご発言ください。</p> <p>他にご意見がないようでしたら、本日の一切の議事が終了しましたので、ここで議長の任を解かさせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
事務局 14:45	<p>【6. その他（1）デジタル田園都市国家構想交付金活用事業のKPIについて】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、事務局から、「デジタル田園都市国家構想交付金活用事業のKPIについて」報告させていただきます。</p>
事務局 14:45～14:51	<p>まずは背景となる交付金の概要からご説明させていただきます。本交付金は、デジタル技術を活用した地域の課題解決等に向けて地方公共団体が実施する取組に対し、必要な経費を国が支援するものです。</p> <p>当市は令和6年度、本交付金を活用し、5つの事業を実施しました。また、この交付金を活用する際に、目標値であるKPIを設定しています。</p> <p>今回は交付金を活用した事業のKPIについてご報告をさせていただきます。</p> <p>「2. 山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議での効果検証」をご覧ください。</p>

対応	内容
<p>事務局 14:45～14:51</p>	<p>令和6年12月、国ではデジタル田園都市国家構想交付金を再編し、新しい地方経済・生活環境創生交付金が創設されました。</p> <p>この新しい交付金は、活用した際に、産官学金労言など、さまざまな分野のステークホルダーの意見を踏まえ、KPIの達成度等の効果検証を行うことが求められています。</p> <p>前身となるデジタル田園都市国家構想交付金活用事業については、効果検証等について、必須ではないものの、今後の参考として報告いたします。</p> <p>それでは、2ページ目をご覧ください。</p> <p>5つの事業において活用いたしましたので、事業ごとにご説明させていただきます。</p> <p>1つ目、「書かない窓口事業」について、本事業は市役所本庁舎へ証明書自動交付機及び、申請書作成支援システムを一部の課の窓口へ導入した事業です。</p> <p>本事業については、5指標のうち指標①、②の利用件数が未達成となりました。これは、当初の計画より実装時期が遅れたことによるものです。</p> <p>指標③～⑤の満足度やコンビニ交付利用率、利便性が向上したと思う市民の割合については目標を達成しました。</p> <p>続いて、3ページ目、2つ目の事業「介護認定調査デジタル化事業」について、本事業は介護認定調査員がタブレットを使用することで、介護認定までの時間の短縮を図るものです。</p> <p>指標①調査件数については、当初の計画よりも導入が早くなったことから目標値を達成しました。</p> <p>指標②を一時飛ばし、指標③について、調査員の満足度についても目標値を達成しました。</p> <p>指標②及び④について、タブレットを使用することで、調査から認定まで一貫してデジタル化できたことにより、指標②の申請から認定までの平均日数は短縮し、目標値を達成したものの、指標④の調査票作成に係る時間については、申請者一人ひとりに合わせた文章を考える時間が変わらなかったことから、目標値まで時間を短縮しきれず、未達成となりました。</p> <p>続いて4ページ目、3つ目の事業「保育業務支援システム導入事業」について、本事業は市内こども園、幼稚園、保育園へ新たなシステムを導入し、園児の登退園やおたよりのデジタル化、お昼寝時の体調チェックなどができるようになり、保護者のスマートフォン等でも確認できるものです。</p>

対応	内容
<p>事務局 14:45～14:51</p>	<p>計画通り実装できたことにより、指標①～③は目標達成となりましたが、指標④「コミュニケーションが増えたと感じる保護者の割合」については、目標未達成となりました。</p> <p>続いて5ページ目、4つ目の事業「WEB版ハザードマップ導入事業」について、本事業は、従来紙もしくはPDFデータのみであったハザードマップを、パソコンやスマートフォンなどから地図アプリのように確認することができる事業です。</p> <p>計画よりも実装時期が遅れたことにより指標①のアクセス数は未達成となったものの、多くの広報等により指標②の認知度や③満足度は達成となりました。</p> <p>最後に6ページ目、5つ目の事業「学校教育DX推進事業」について、本事業は市内小中学校の一部にデジタル教科書及び電子黒板を導入したものです。</p> <p>計画通りに進み、指標①②の実施回数に係る目標値を達成し、児童生徒の満足度である指標③④も達成しました。</p> <p>説明は以上になります。</p>
<p>事務局 14:51</p>	<p>ご意見・ご質問がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いします。</p>
<p>並木委員 14:51～14:52</p>	<p>「学校教育DX推進事業」の指標①及び②に関して、令和7年度、令和8年度と目標値を増加していますが、最大どの程度まで増加することを見込んでいますか。</p>
<p>事務局 14:53</p>	<p>令和6年の夏休み期間中に、多くの教室では従来の黒板を置き換える形で電子黒板を設置いたしました。</p> <p>令和6年度は年度途中から電子黒板を使用することを想定していたため、目標値を100回と設定しました。</p> <p>令和7年度以降は、基本的には電子黒板を使用していただくことを想定しており、令和8年度の目標値である235回が最大値として考えております。</p>

対応	内容
事務局 14:53	最後に、事務局から委員の皆様ご連絡事項がございます。
事務局 14:54	<p>《6. その他 連絡事項》</p> <p>本日はご出席いただきありがとうございました。</p> <p>令和7年度は今後の会議予定はございません。しかしながら、地方創生総合戦略を緊急で改訂する必要性が生じた場合などは、会議を開催することとなりますのでご承知おき願います。</p> <p>事務局からは以上となります。</p>
事務局 14:55	<p>【7. 閉 会】</p> <p>以上をもちまして、令和7年度第1回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議を閉会いたします。ありがとうございました。</p>

(以上)